令和２年　第２回

京田辺市教育委員会臨時会

令和２年８月２７日

令和２年第２回教育委員会臨時会会議録

１　日時・場所

令和２年８月２７日（木）午後２時

京田辺市立中央公民館第１研修室

２　出席委員

教育長	山岡　弘高
委員（教育長職務代理者）	西村　和巳
委員	藤原　孝章
委員	上村　真代
委員	伊東　明子

３　出席職員　職・氏名

教育部長	藤本　伸一
教育指導監	中井　達
教育部副部長	鈴木　一之
教育総務室担当課長	北尾　卓也
こども・学校サポート室総括指導主事	草野　謙太郎
こども・学校サポート室指導主事	芹澤　雄一
学校教育課長	藤井　勝久
事務局　教育総務室総務係長	出島　ケイ

（兼務職記載省略）

４　日程

１　開会宣告

２　議事日程報告

３　日程第１　議案第５４号　令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書の採択について

４　閉会宣告

１　開会宣告

教育長　令和２年第２回京田辺市教育委員会臨時会を開会します。出席数は５名で、定足数を満たしています。

２　議事日程報告

教育長　本日の議事日程は、さきにお配りしているとおりです。

３　日程第１　議案第５４号　令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書の採択について

教育長　日程第１、議案第５４号、令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書の採択についてを議題とします。本件は、令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書について、京田辺市教育委員会の採択を得るために提出するものです。これまでの経過は、去る７月２７日に本市が属す山城教科用図書採択地区協議会において協議がされました。京田辺市立小・中学校において使用する教科用図書採択は、京田辺市教育委員会が採択権者として、京田辺市域の児童・生徒にとって最も適した教科書を採択する責任を果たすという観点から、本市が属す山城教科用図書採択地区協議会の協議内容を踏まえ、審議の上、採択いただくものです。審議は、１教科ごとに行い、最後に全教科について採択することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と言う者あり）

教育長　異議なしと認めます。では、これから１教科ごとに審議をいたします。最初に、国語の教科書について審議します。

こども・学校サポート室指導主事　採択における調査研究は、生徒が主体的に学習に取り組める工夫や思考力、判断力、表現力といった育成を図るための配慮がされているか。また、生徒の立場から親しみやすく、使いやすく、主体的・対話的に学習に取り組むことができるか。公教育として多種多様な意見が反映され、公平性が担保されているか。授業の質を担保する上で若手の先生でも授業に使いやすいかどうか。そうした４つの視点で行われました。全ての教科、出版社において新学習指導要領の趣旨に基づいた内容となっていることを報告します。

国語は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の４社からの採択となります。代表調査員からの報告では、主体的で対話的な深い学びを実践している授業のスタイルでは、東京書籍の教科書がそれに合致している。光村図書や三省堂の教科書も非常に優れた点が多かった。どの教科書会社もＱＲコードなどを導入していたが、東京書籍の教科書がいち早くＤマークコンテンツというものを導入しており、今後タブレットが導入される場合も自学自習に関して非常に優れている部分が多いと感じたということでした。

山城協議会では、東京書籍と光村図書の２社が特に優れているという評価です。

東京書籍は、古典や近代文化、近代史を手厚く取り上げています。３年間の教科書を通して登場する６人の生徒たちと言葉の精という案内役のキャラクターは、実際の生徒と同様に考え、成長していきます。また、PISA調査や全国学力調査で明らかとなった課題の克服

に向けた学習内容が設定されています。読書指導においても、実際の作品や多種多様な本の紹介や、図書館や作家のコラムなども掲載されています。「学びの扉」において、日常生活で陥りやすいつまずきの場面を描き、言葉の使い方に関する課題を主体的に発見できるようにしています。

光村図書です。「学習の窓」では学習で用いる用語を一覧にし視覚的に見渡せるページを設けています。情報化社会に対応した書く力の育成に重点を置き、多様なテーマ、文種を教材としています。各学年で「聞き上手になろう」のコーナーを設け、主体的に聞く力を育めるようにしています。文法について詳しい解説がされており、練習問題も豊富に掲載されています。イラストを多用し、興味を持って学習に取り組めるようにしています。

協議会では、代表調査員の報告を受けた後、質疑応答を経て、採択協議が行われました。

特に国語の場合、各教材の学習の手順が、学習の深まりに強くつながるが、この点は各社ともそれぞれ工夫している。中でも東京書籍が一段と工夫があるように感じた。日本語の言葉を豊かにする部分については、４社ともそれぞれに工夫が見られた。掲載される文学作品の価値の高さは重要であり、光村図書はすばらしいものを掲載し続けていると感じる。ただし調査員の評価では東京書籍も同様ということであった。子どもにとって親しみやすい、分かりやすい教科書になっているか、その教科書が好きになるような紙面構成がどこまでできているかが大事である。新学習指導要領に基づく学習の進め方と合致した構成、子どもにとっての使いやすさ等、総合的に判断すると東京書籍がよいように思う。

こうした協議の上、「東京書籍株式会社」の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

伊東委員　日本語の言葉を豊かにする工夫について、４社ともそれぞれの工夫が見られたとのことでしたが、４社とも横並びとして捉えてよろしいですか。

こども・学校サポート室指導主事　調査員の感想ですが、日本語らしさというものを感じ取らせること、その言葉を自分のものとして身につけさせていくというところでは、やはり東京書籍の教科書が指導しやすく、よいのではないかという話でした。

西村委員　特に国語の場合、学習の手順が主体的・対話的で深い学びにつながることが、大変大事な要素であると考えられますが、この点でどの教科書会社に工夫が見られるのか。特に、東京書籍がよいというのは、もう少し具体的に。

こども・学校サポート室指導主事　調査員は、山城管内各中学校で国語を教えている現職教員ですが、教科書を使う段において子どもたちに課題を設定し、それを子どもたちが自身のものとして捉え、基礎的な力をつけ、話合い、そうした授業の流れが主体的で対話的で深い学びの実践につながるのではないか、こうしたスタイルで授業を促すにあたって、東京書籍が一番合致しているのではないかという報告です。

上村委員　東京書籍は６人の生徒たちと言葉の精という案内役のキャラクターを登場させ、子どもたちの主体性を高めているというお話ですが、もう少し詳しくお願いします。

こども・学校サポート室指導主事　性格づけされた同年代のキャラクターが、「学びの扉」としてストーリーを交えた課題提供することで、学習者の興味づけがされ、提起された課題を共有しやすいのではないかという話がありました。学習を進める中で人物像がより明

らかになっていくというところも学習者にとって興味が湧くのではないかと考えます。

教育長　ほかに質問等、ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

国語の教科書については、原案のとおり「東京書籍株式会社」の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、書写の教科書について審議します。

こども・学校サポート室指導主事　書写は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の４社からの採択となります。協議会で評価が高かったのは、東京書籍、光村図書です。

東京書籍は、全国学力学習状況調査や高校入学試験に出題された書写に関する問題を参考に作成された「書写テスト」を掲載し、自己評価に役立てられるようになっています。全ての見本が１２８％の拡大で半紙と同じ大きさになるように設定されています。全ての毛筆教材に筆運びの動画が用意されています。「生活に広げよう」のコーナーでは、書写の学びをどのように生かすのかを具体的な場面に沿って考える機会を設けています。さらに、「書写活用ブック」には日常生活でよく使う書式をまとめ、中学卒業後も活用できるようなものとしています。

光村図書はテストを意識した「３年書写テスト」がついています。書写の基礎・基本を無理なく身につけられるように、「何を・どう学ぶか」を分かりやすく示しています。付属の書写ブックでは３年間の要点をまとめてあり、硬筆で繰り返し練習し、書く力の定着を図っています。全ての学習ページに「学習の進め方」や学習のポイントが示されています。学んだことを学校生活や社会生活に生かすヒントが掲載されています。さらに、行書を学ぶということに対して、光村図書だけが１年次から見本が出されていることや、見本の文字数についても非常に工夫されていることも評価されていました。

協議内容ですが、出版社によってサイズに違いがあるが、活用においてはそれほど差異は感じられない。ユニバーサルデザイン書体に関しては、光村図書が一番詳しい説明があり、そのフォントも多く紹介されていた。光村図書はＱＲコードから筆遣いの動画等を見ることができ、自分で学習を進めていく上でも非常に便利で、子どもたちにとって使いやすい、等の意見が出され、その結果、「光村図書出版株式会社」の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

伊東委員　特に書写においては、学んだことをいかに生活に生かしていくのかという点が、非常に大切なことだと考えます。そういう点から特徴的な出版社はありますか。

こども・学校サポート室指導主事　生活への反映という意味では、４社とも非常に工夫されているということでした。ポスターや新聞の作成や、相撲の番付等、伝統的な文字を紹介しながら、子どもたちが自分の実態や興味に基づいて語り合うことができる効果に、優劣はあまりないように感じるという報告でした。

伊東委員　東京書籍と光村図書には、別冊の書写ブックがついていますが、この２社の書写ブックの違いなど、何かあれば教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　東京書籍は、情報誌の意味合いが強いかと思います。書

写で学んだことを活用するために、書く場面のポイントを掲載しており、冊子の半分以上で、常用漢字、人名漢字の表をつけています。光村図書は、情報誌ではなく硬筆の練習帳の意味合いが強いかと思います。学習者が振り返りをしやすい、練習帳を別途用意する必要がないというところは利点であるかと感じました。

西村委員　ほかの教科書会社もＱＲコードはありますか。

こども・学校サポート室指導主事　光村図書と東京書籍は、両方とも準備されています。各ページにあるＱＲコードから直接リンクされていて、学習者がそのＱＲコードを使って学習を進めるという意味では、光村図書の方が扱いやすい感じはあります。

教育長　ほかに質問等、ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

書写の教科書について、原案のとおり「光村図書出版株式会社」の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、社会地理的分野の教科書について審議します。

こども・学校サポート室指導主事　社会地理は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教の４社からの採択となります。基本的には、各社とも見開き２ページで１テーマを扱い、その中で導入と学習課題、展開、まとめという流れを構成しているとのことでした。山城協議会では帝国書院の評価が高く、ほかは横並びという印象です。

東京書籍ですが、同世代のキャラクターの吹き出し等で子どもたちに読み取る視点や学習活動を示しています。また、基礎・基本のまとめをしているところや単元末に河川名、山脈名などの語句を載せているところは、基礎的・基本的な知識が身につくような工夫と考えます。１単位時間のページにトライというコーナーがあり、習得した知識を活用して地理的事象を説明したり考えたりする課題が設定されています。「Ｄ」マークは、デジタルコンテンツを活用して主体的に学習ができる教材があることを示しています。

教育出版は、地理の技というページがあり、地図やグラフの活用方法や読み取りなど基礎的・基本的な地理的技巧が習得できるよう工夫されています。各単元には学習のまとめと表現の課題があり、学習内容を定着するための工夫がされています。各章の最初のページには「学びリンク」として、ＱＲコードが印字されており、学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで見ることができます。

帝国書院は１単位時間のページに確認資料や「前の学習を振り返ろう」というコーナーがあり、地理的概念や用語などの基礎的・基本的な内容の定着を図ることができます。技能を磨くというコーナーがあり、写真や地図、グラフの読み取り方など、地理的技能を習得するための工夫がされています。学習する世界的課題が明確になっているところも特徴と言えます。「説明しよう」というコーナーで、習得した知識を使って、地理的事象を説明する課題が設定されています。各章の最初のページにＱＲコードが印字されており、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができます。インデックスがついており、ページが開きやすい工夫があるということでした。

日本文教は、学習のまとめでは、各単元で学習した語句などについて整理されていて、基

礎的・基本的な内容の定着を確かめることができます。各単元の最後にアクティビティという部分があり、学習内容の理解を深める主体的・対話的な問いやそうした活動につなげるものが掲載されています。

協議内容について、世界の諸地域の学習において帝国書院とほか２社ほどが各単元の初めに、自然、風土、建築物、文化、伝統など人々の暮らしに密接に関わる写真を多く載せている。子どもたちにとっては、単元の導入を図る上で、効果的に働くのではないか。どの社も探求型の学習が進むようよく工夫されているという印象です。

帝国書院は、章や節ごとに学習課題が明示され、学習の見通しが立てやすくなっている。また、課題を追求しながら本文の学習を進め、最後に振り返りの学習をするという形がきちんと設定されているように思います。特に振り返りは大切と思いますが、帝国書院は振り返りを２ページで丁寧に取り扱い、キーワードを提示して問題形式で知識をまとめるようになっています。まとめ方においても、具体的にその作業方法が示されていることで、思考力、判断力、表現力の育成が図られている印象である。世界のさまざまな地域の特徴について比較したり、まとめたりする学習において、各社共通して取り上げているのは宗教である。独自視点としては、帝国書院が子どもたちにとって身近な衣食住を取り上げており、自分たちの生活と結びつけながら世界の地域に関心を持ち、学習を深めていくのではないかと思います。こうした協議により、社会科地理は「株式会社帝国書院」の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

藤原委員　今回の学習指導要領では、持続可能な社会の作り手を育てるという大きな目標があり、それは特に社会科においても反映されていることだと思いますが、その点に関して各社の特徴的なところはありましたか。

こども・学校サポート室指導主事　持続可能な社会、ＳＤＧｓについては、新しい学習指導要領において記載すべき内容として取り扱われており、どの出版社の教科書にも記載があります。取扱いが大きく変わるところはないと聞いていますが、強いて言えば東京書籍と帝国書院が少し大きめに扱っているという評価でした。

藤原委員　社会科に関して、社会的な見方・考え方を育てるということが指導要領の大きな目標の１つになっていますが、子ども達が自ら学ぶという点から工夫があるのはどちらでしょうか。

こども・学校サポート室指導主事　調査員の報告の中で、帝国書院の教科書は、日本の各地方の特色が分かるような俯瞰図や概念図、イラスト等があり、子どもたちのこれからの学びに対する期待感や、課題意識を向上させるというところで、非常に有効に働くのではないかという話がありました。

教育長　ほかに意見、質疑等ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

社会地理的分野の教科書について、原案のとおり「株式会社帝国書院」の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、社会歴史的分野の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　社会歴史は、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教、育鵬社、学び舎の７社からの採択となります。どの出版社も学習指導要領が示す教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げており、また、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景にして、各時代の特色を踏まえて理解できるよう工夫されているという報告でした。中でも、東京書籍、帝国書院、山川出版の評価が高かったようです。

東京書籍ですが、１時間の学習内容を見開きに収めてあり、学習内容の見通し・展開・振り返りの３つの視点を大事にしている印象です。単元全体を貫く「探究活動」を立て、１単位時間の「学習課題」や「チェック＆トライ」「探求のステップ」の積み重ねにより解決する「問い」を設け、問題解決的な学習の流れで、生徒の思考力・判断力・表現力を効果的に高められるようになっています。本文を補完する学習効果の高いイラストや写真などを大きく掲載し、イメージ豊かに時代をつかめる工夫となっています。まとめの手法＝チャートが斬新であるという報告でした。地図や資料が大き過ぎて本文の内容が簡潔過ぎる。逆に資料が大きいので生徒にとって見やすいという意見も上がっています。

帝国書院は生徒の興味・関心を引き出すために冒頭に学習内容を象徴する資料を大きく掲載し、学習意欲の向上、基礎・基本の習得を図っています。１時間の学習の最後には確認資料・説明資料と題した振り返りを必ず入れており、知識の習得と思考力・判断力・表現力の育成に力を入れる意図が感じられます。節の冒頭に、大きなイラストから各時代を概観する特設「タイムトラベル」を設け、当時の社会への興味・関心を膨らませる工夫をしています。多面的視覚的のコーナーはそのままワークシートとして活用可能です。地図・資料・グラフなど地理・公民分野と関連する内容が多く見られるほか、ジェンダー教育やアイヌ、移民など人権の視点が充実している印象です。

山川出版については、導入の発問、ステップアップ課題、各教科に付した発問等、学びの段階別の工夫がされている印象です。１時間の学習の最後にステップアップと題した課題を設け、学習内容を振り返る視点も設けています。各テーマに設定された問いは、物事の差異や共通点に気づかせて歴史的見方を捉えさせることを意識されています。アプローチ欄で他教科との関連が記載されており、文化史も詳しい印象です。調査報告では、内容が飛び抜けて詳しく、知識面では他社よりも圧倒的に優位である。資料のサイズも適切であり、なおかつ掲載されている資料が斬新ということでした。

協議内容について、いろいろな立場で歴史を捉えやすく工夫しているのは、東京書籍ではないか。調査員報告では、東京書籍は一番基本的な内容を全てきちんと押さえられている教科書であり、公平性の視点から見ても問題はない。他方、ほかに評価の高かった山川出版は高校の教科書になるぐらいであるため、すごく詳しいが、逆に詳し過ぎる感もある。東京書籍はあまりにも簡略化している感があり、その中間にあるのが帝国書院ではないか。若手教員が増える中、教えやすさという点でも帝国書院が好印象である。同和問題を含めて人権については若干の違いがあるが、どの教科書会社も特設のページを設けるなどして力を入れている感じがあった。帝国書院は少し深みのある学習をするにはすごく良い。今

までにない斬新なつくりをしている教科書として良いと思う。東京書籍を従来から使っているので、教員からすると教えやすさはあると思うが、帝国書院の新しさは、社会科の多面的・多角的に物事を考えていくという面で地歴を総合したような考え方があってよかったと思う。こうした意見が出され、社会歴史は「株式会社帝国書院」の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

藤原委員　歴史的分野の教科書は、社会科の中では一番多くの出版社が提供していますが、地理、歴史、公民３つとも発行している教科書会社を対象にするのがいいのではないかと個人的には思っています。報告では、帝国書院、東京書籍の評価が高かったということですが、東京書籍は、今まで教員や生徒が慣れ親しんだ教科書であったと思います。今回、帝国書院を特に評価した理由について、報告以外にあれば教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　帝国書院は、地理分野、地図が非常に強い出版社というのがこれまでのイメージでしたが、今回、地理に力を入れているというところが、世界史を教えるに当たっての非常に分かりやすい資料提示となっているのではないかという報告でした。特に地歴的な観点、多面性という点で非常に工夫をされているのが帝国書院であり、それを評価したいという考え方です。

西村委員　生徒が主体的・対話的に学習を進める観点で、どの教科書会社も大変工夫の跡が見られるわけですが、特に昨今印刷技術の進歩もあり、写真やイラスト、図表その他、視覚に訴えるような内容が多く、私たち大人でも大変興味を引くようなところが多いと思いました。特に帝国書院で、要所にタイムトラベルというようなイラストページがあり、主体的な学びに有効であると感じていますが、そのような声が出ていましたか。

こども・学校サポート室指導主事　意見としては、例えば、日本文教は、日本の歴史を時間軸と空間軸からグローバルに概観し、学ぶ目的が分かりやすいようにしているという意見や、学び舎は、いわゆる偉人だけではなく市井の人々を積極的に取り上げ、歴史を身近なものに感じさせるような工夫が見られるといった意見が出ていましたが、相対的に帝国書院の方が魅力的なイラストや、導入時の優れた資料掲載というところで評価が高かったのようです。

教育長　よろしいですか。ほかに質疑等よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

社会歴史的分野の教科書については、原案のとおり株式会社帝国書院の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、社会公民的分野の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　社会公民は東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教、自由社、育鵬社の６社からの採択となります。ＳＤＧｓの観点、小学校との連携という点では、どこの会社も力を入れて取り組んでいる印象とのことでした。また、主体的・対話的で深い学びという点でもいずれの出版社も工夫がされています。協議会では６社のうち、東京書籍、教育出版、日本文教が高い評価を得ていました。

東京書籍ですが、授業に取り組む上で教員が扱いやすい印象とのことでした。章の冒頭で導入の活動を設定し、章末にまとめの活動を入れており、単元を貫いた取組をしやすい工夫がされています。「みんなでチャレンジ」というコーナーで、課題を協働して、対話で学びを深めるきっかけとしています。全体として単元を貫く学習を行いやすく、興味関心を高める工夫が多いという印象です。

教育出版も単元を貫いた学習がしやすいよう、章の冒頭に「学習の初めに」、章末には学習のまとめと表現が配置されています。「公民の技」は、主体的・対話的な取組につながるコーナーであると報告されています。「読み解こう」のコーナーで、グラフ、写真、地図などの資料を読み取り、社会の動きを考察する学習活動を重視しています。学習課題と対応させた「確認」と「表現」のコーナーでは、基礎的事項の確認と、社会的事象についての説明や話合いなどの表現活動に取り組めるようにしてあります。

日本文教は、冒頭に「学習の初めに」、章末に「学習整理」や「活用」という設定をしています。アクティビティーのコーナーで活動場面を設け、主体的・対話的で深い学びを深めるよい機会となっています。随所に「シンキングツール」で分かりやすい解説をするなど、単元を貫く学習の手助けを行い、興味関心を高めるよう工夫されています。各編の導入において「マンガ」を用い、章の最後に「チャレンジ公民」を設け、法教育、主権者教育、消費者教育、キャリア教育、金融リテラシー教育などの一層の充実を図っています。

協議内容について、公民は子どもたちの意見交換が非常にしやすい教科だという視点では、東京書籍は非常に工夫されており、話合いから学びを深められる仕掛け、子どもたちが自主的に学習できるような資料も多数掲載されており、東京書籍がよいのではないか。どの教科書もカラーをうまく使い読みやすいフォントを使って、生徒が集中しやすい配慮がある。さらに写真や新聞、絵をうまく掲載して分かりやすくしている。生徒の思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮について、日本文教は見方、考え方、シンキングツールのところで工夫されているが、東京書籍は、単元のまとまりを重視した紙面構成が図られ、明確な問いを軸にした課題解決的な学習に取り組みやすい配置としており、良いと思う。生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮として、協働的な活動を求めるコーナーがあるが、東京書籍では「みんなでチャレンジ」が２１項目あり、対話的な授業実践に取り組みやすいように工夫されている。また、自ら課題を発見し、解決する能力を養うことができるよう、節の初めに学習の段階を理解できるようにし、単元を貫く学習に取り組みやすいようにしている。教育出版は「公民の技」１０項目、日本文教は「チャレンジ公民」４項目でそれぞれ工夫がされているが、総合して東京書籍が一番よいように思う。こうした協議によって、社会科公民は東京書籍株式会社の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

藤原委員　今回の学習指導要領の改訂に当たり、１８歳成人社会、つまり１８歳で主権者を育てるというところから、社会科の学習指導要領も考えられるのではないかと思っています。小学校では６年生で政治を先に学ぶようになりましたし、高等学校では公共という新科目もできました。小学校、中学校、高校という一連の流れを見ると、対話的な学びとい

うのはすごく重要ではないかと思います。その対話的な学びについて、出版社はそれぞれどのような違いがあるかをもう一度お聞かせください。

こども・学校サポート室指導主事　各社の工夫について説明がありましたが、特に主体的・対話的で深い学びということに関しては、そうした活動の設定を教員がやりやすいと考えているのが、東京書籍、教育出版、日本文教の３社でした。とりわけ東京書籍については高い評価であったと思います。単元を貫く課題設定を大事にしており、授業を重ねる中で徐々に単元を貫く課題に近づいていくというところがよかったという報告でした。

西村委員　東京書籍については、授業の構造化がしっかりなされているという話でしたが、もう少し詳しく教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　東京書籍は単元を貫く学習課題設定に、非常に重きを置いていると考えます。構造化ということに関しては、単元全体を通してどのようなことを学ぶのか、学習者がそれをより意識しやすいように課題設定や動機づけがあり、学習者が自発的に疑問や違和感を持つような仕掛けがしてあるというところが第一です。その上で、話合いや、体験的な学習等を通して課題を解決することを積み重ね、最終的に単元を貫く課題の解決にたどり着ける。そうした一連の流れを構造化と表現していたと思います。

西村委員　単元の構造化というのは、問題解決的な学習をより深化していくという授業の流れが、計画的に積み重ねて組まれているということでよろしいですか。

こども・学校サポート室指導主事　おっしゃるとおりだと思います。問題解決を小さなステップで重ねることで、大きな問題解決に至る。そういう仕掛けが大量にされているということではないかと考えています。

教育長　社会科それぞれの分野の教科書を採択するときに、出版社が同じ方が使いやすいのではないかというようなことは協議会で出ていましたか。

こども・学校サポート室指導主事　他の教科に関しては、そうした話も出ていたように思いますが、社会科に関して地理、歴史、公民をそろえた方がよいという話は協議会では特に出ていなかったと記憶しています。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

社会公民的分野の教科書については、原案のとおり東京書籍株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、社会地図の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　地図に関しては、東京書籍と帝国書院の２社からの採択です。

東京書籍ですが、巻頭に持続可能な開発目標を特集するページを設け、国際社会が抱えるさまざまな課題を理解できるようになっています。歴史的分野や公民的分野の学習で活用できるページや資料を随所に掲載し、歴史・公民マークを付して明示しています。「テーマ資料」テーマに応じて考察することで理解を深められるような構成となっています。資料のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しをつけ、地図から読み取る情

報の要点が分かりやすく示されています。

帝国書院ですが、世界地図ではイラストつきの鳥瞰図なども掲載し、地域の特性を視覚的に捉え、生徒の興味関心を引き出す工夫がされています。日本の地図の中に土地活用の凡例がページごとに記載されています。地図を比較しやすいように、同縮尺の地図を多く掲載しています。学習課題が示され、資料を読み取る力を培い、深い学びにつなげる行為となっています。日本に起こりやすい自然災害とその対策について分かりやすく示すとともに、防災の資料も充実させています。また、日本の各地域の伝統、文化についての資料もあります。

協議内容について、地図自体に大きな違いはないように感じるが、子どもたちがはっと興味を持ち、食いつくような俯瞰図、イラスト等がつくられているのは帝国書院であると思うという意見が出され、株式会社帝国書院の教科書を採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

伊東委員　教科書の大きさの違いは何か意見がありましたでしょうか。

こども・学校サポート室指導主事　東京書籍はほかの教科書とおおむね同じサイズで、机上のスペースや、子どもの使いやすさというところには利点があると考えます。帝国書院はサイズが大きいので見やすく、地図、資料から地域をイメージするのに非常に貢献すると考えます。両者とも生徒の負担を減らすために軽い紙を使用していますが、帝国書院は従前より１５％軽量した紙を使っており、全体で５１４グラム、東京書籍は５７７グラムで、帝国書院の方がやや軽いということです。

上村委員　地図はデジタルコンテンツが重要なポイントになると思いますが、２社の違いはありますか。

こども・学校サポート室指導主事　東京書籍は、Ｄマークがあるページはデジタルコンテンツがあることを示していますが、一旦一覧のところにアクセスする必要があります。内容的にはウェブページの資料、ワークシートといったものでした。帝国書院ですが、ＱＲコードの読み取りによって、各ページからデジタルコンテンツの一覧にアクセスすることができます。内容的には衛星写真や、ＮＨＫ等外部のホームページへのリンク、ウェブ上のクイズ、統計資料等が入っており、帝国書院の方がコンテンツ的には多様な内容かと感じます。各ページにＱＲコードがあり、そこからダイレクトに資料に飛ぶことができるという点は利点と感じました。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

社会地図の教科書については、原案のとおり株式会社帝国書院の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、数学の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　数学は東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教の７社からの採択となります。このうち、啓林館が高い評価を得ていますが、あとは横並びという印象でした。７社の特徴について説明します。

東京書籍ですが、節ごとにQ、例、問い、節末に練習問題、章末に章末問題があります。巻末に補充問題があり、繰り返し学習ができる工夫がされています。デジタルコンテンツはDマークで示されており、アドレスやＱＲコードは巻頭に示されています。各章に深い学びを設定してあります。さらに問題をつかむ、見通しを立てるなど、教科書注に問題解決のプロセスを示すことで、生徒が正しく学習過程を意識できるような工夫があります。

大日本図書ですが、節ごとに活動、例、クエスチョン、問題、節ごとに練習問題、章末に章末問題があります。補充問題が同じページと巻末にもあり、繰り返し学習ができるような工夫がされています。デジタルコンテンツについてはＷＥＢマークで示されており、アドレス、ＱＲコードが巻頭に示されています。「問題を見出そう」「解決の仕方を探ろう」「解決しよう」のステップを示すことで、生徒が学習過程を意識できる工夫となっています。

学校図書ですが、節ごとにクエスチョン、例、問い、節末に練習問題、章末に章末問題があります。巻末には復習問題があり、繰り返し学習がしやすい工夫となっています。デジタルコンテンツについては、教科書内にＱＲコードで示してあり、巻頭にもアドレス、ＱＲコードが記されています。教科書左側に帯をつけ、「問題を見つけよう」「予想してみよう」「調べよう」などを示し、生徒が学習を進めていく過程が意識できるような工夫がされています。

教育出版ですが、節ごとにQ、例、確かめ、問い、節末ごとに練習問題、章末に章末問題があります。そして補充問題が巻末にあり、総合問題と併せて繰り返し学習しやすい工夫となっています。デジタルコンテンツについては、教科書内に学びリンクというものを示しており、アドレス、ＱＲコードが巻頭に記されています。また、教科書側注に「問題をつかもう」「自分の意見を持とう」など、問題解決のプロセスを示すことで生徒が学習過程を意識できるような工夫となっています。

啓林館は、節ごとに「広げよう」、例、問いがあり、項末に練習問題、章末に章末問題があります。また、問いに対する補充問題も巻末にあり、多くの問題を解くことにより繰り返し学習ができる工夫となっています。デジタルコンテンツについては、教科書内にＱＲコードが記されており、巻頭にもアドレス、ＱＲコードが記されています。数学の利用場面では、「問題設定」「見通しを立てて問題を解決」「深める」などのステップを設置することで、生徒が学習過程を意識できるような工夫となっています。

数研出版ですが、節ごとにQ、例、問いがあり、節末に練習問題、章末に章末問題があります。巻末には復習問題と章ごとの総合問題があり、繰り返し学習ができる工夫となっています。デジタルコンテンツについては、教科書内にリンクマークで記されており、アドレス、ＱＲコードは巻頭に記されています。また、別冊探求ノートがあり、問題解決に向け、活動の見通しを立てたり、振り返りに用いたりできる工夫となっています。

日本文教ですが、各章にQ、例、問いがあり、節末に練習問題、章末に章末問題があります。各問いに対しての補充問題やチャレンジ問題があり、繰り返し学習ができる工夫となっています。デジタルコンテンツについては、教科書内にＷＥＢマークで記されており、アドレス、ＱＲコードが巻頭に記されています。また、身近な事柄を数学の場面として考

える「学び合おう」では、対話を通して学び合う構成がされており、「見通しを持とう」「考えよう」など、生徒が学習過程を意識できるような工夫となっています。

協議内容について、教科書の構成としては、東京書籍、大日本図書、啓林館が優れているように感じた。数研出版には探求ノートが付録しており、教える側にとれば、非常に便利なものであるが、生徒にとっては少しレベルが高いのではないだろうか。例題から演習への流れが、啓林館がスムーズで理解しやすいように感じる。本年度から新しく変更された指導内容の扱いについて、指導者である調査員が扱いやすいと感じるのは、学校図書、啓林館、日本文教の３社である。指導者の教えやすさ、学習者の学びやすさという点で啓林館は他社に比べて、より小さなステップで練習問題を入れており、学習の積み重ねを確認しやすく、定着を図りやすいと考える。多くの出版社がデジタルコンテンツのＵＲＬやＱＲコードを巻頭に掲載しているのに対し、啓林館は随所にＱＲコードがついているのは、学習者にとって使いやすいのではないか。こうした意見が出され、株式会社新興出版啓林館の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

西村委員　数学は系統的な学習が大変大事な教科と思います。今回、山城の採決で大日本図書から啓林館に変更された理由について、教科の特徴と、どのような意見が出たかということについてお願いします。

こども・学校サポート室指導主事　山城の方で啓林館を採択された大きな点は、新学習指導要領の内容の取扱いと、演習問題等小さなステップで基礎・基本の習得が図れるところ、また、デジタルコンテンツの扱いというところが総合的に評価されました。大日本図書ですが、これまで見開き２ページで１時間の授業分としていたのが、今回の教科書は少し違っている感じがするというところも、意見としては出ていました。変更されることで、小学校・中学校ともに啓林館の教科書になりますが、結果そろうことで小・中の系統性の利点は生じるのではないかと思いました。

西村委員　啓林館は「みんなで学ぼう編」「自分から学ぼう編」というのがあり、主体的な学びに結びつくような工夫が見られると思いますが、この辺りについて評価はありましたか。

こども・学校サポート室指導主事　ご指摘の箇所は、必ずしも取り組まなければいけない頁ではありませんが、個別最適化された課題に取り組むという意味では、自分の実態に合ったものを、授業全体、学級の様子を見て活用できるという意味ではよいのではないかという話はありました。

西村委員　啓林館は他社と比べると、より小さなステップで練習問題などがしっかりと配置されており、例題から演習への学習の流れがスムーズという感じがします。問題数について他社よりも多い印象を受けたのですが、現場の先生方の視点から見て、資料集を活用しなくても学習ができるというような意見はあったのでしょうか。

こども・学校サポート室指導主事　項ごとの演習問題は毎回多様な問題が配置されていると思います。指導者の使い勝手というよりは、学習者が少しのステップでその学習が身についたかどうか確認する場面があるという意味で、非常に使いやすいのではないかと感じま

した。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

数学の教科書については、原案のとおり株式会社新興出版社啓林館の教科書を採択することについて確認します。

次に、理科の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　理科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の５社となります。５社とも持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を強く意識したつくりになっている印象です。また、主体的・対話的な学習を促すための話合いの場面設定やキャラクターの吹き出しなどの工夫が各社ともに見られました。特に、東京書籍、大日本図書、啓林館が高い評価を得ていました。３社についての特徴をお伝えします。

東京書籍ですが、ダイナミックな写真を使用し、科学的な興味関心を引き出す工夫をしています。冊子は縦長で横幅が比較的短いので机上のノートの配置等にも余裕ができ、なおかつ比較的軽量であるようです。デジタルコンテンツとしてホームページから入っていくことで、アプリやコンテンツ、動画などを活用することができ、学習内容の定着の補助となっています。また、巻末でペーパークラフトをつけており、興味関心を高める一助となっていると考えます。

大日本図書ですが、単元の最後に「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」を設定し、基礎学力から活用力の定着についても配慮されています。各単元の冒頭や随所に既習事項を示しており、特に定量的な扱いを補助する計算方法について例題や解答例を掲載し、つまずき解消に役立つと考えます。専用のアプリをインストールして使うことでＡＲ（拡張現実）技術を用いたデジタルコンテンツを利用することができます。

啓林館ですが、冊子の形が比較的横長で図が大きく、本文と照らし合わせて参照できるようになっています。概念の理解や重要な図、写真を紙面上部に集め、視覚的に対象物を認知させるような工夫となっています。本文の記述とダイナミックな図や写真の両立が図られており、学習効果を高める工夫があります。巻末に生徒一人ひとりが観察実験などを主体的に行えるよう、切取り可能なシートを配置しています。また、既履修の定量的な扱いを補助する算数、数学の考え方を確認する機会を設けています。ページ中にあるＱＲコードより実験や学習をサポートする動画やコンテンツが利用できます。

協議内容についてですが、各社とも観察実験を扱う頁と結果のページが一度に見えてしまわないように配置が配慮されている。日常生活とのつながりについては、各社とも学習が日常生活でどのように結びついているのかの話題を取り上げ、意識されている。化学変化、単体同士の結びつきなどは生徒が分かりにくい内容と思うが、啓林館は非常に多くの単体同士の結びつき例を示しており、それが分かりやすいように感じた。中学校理科では、どうしても計算問題でのつまずきも懸念される。その点の支援が大日本図書、啓林館にあるのでよいと思う。啓林館は子どもが考察を考える上で、実験、観察結果の教科書上の取扱いが適切であるように思う。といった意見が出され、結果、株式会社新興出版社啓林館

の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

長く啓林館の教科書が採択されていますが、継続して啓林館が選ばれた理由をお願いします。

こども・学校サポート室指導主事　生徒がつまずきやすいところに対する分かりよい取扱いや、数学的な部分でのつまずきの支援、生徒の考察に結びつけやすい実験、観察結果の取扱い等はありますが、これまでの使用実績を踏まえ、子どもたちの学習活動に合致しているという強みがあると思います。また、校内の理科備品、教材に関して、教科書に準じたものがそろえてあると思いますので、啓林館が継続すると、それが引き続き使用できるという利点もあると思います。

教育長　デジタルコンテンツがどの教科書も充実しているということですが、ホームページにアクセスするパターンとＱＲコードを読み込むパターン、アプリをインストールするパターンがありますが、実際の利用に当たってその辺はどうですか。

こども・学校サポート室指導主事　本市の現状でいいますと、教室に電子黒板等がありますが、ＱＲコードをそこから読み込んでつながるということはありませんので、今の状態で使うにはそれほど利点にはならないと思いますが、今後１人１台のタブレットになると、タブレットからすぐにＱＲコードを読み込んでデジタルコンテンツを使えるので、非常に優秀と思います。タブレットにアプリをインストールすること自体は特に問題ないという確認は取っていますが、今後アプリがたくさん増えていくと、アプリの管理の部分で課題が生じるかもしれないということでした。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

理科の教科書については、原案のとおり株式会社新興出版社啓林館の教科書を採択することについて確認したいと思います。

それでは、ここで休憩に入ります。

（休　憩）

教育長　それでは再開します。

次に、音楽一般の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　音楽一般について、教育出版、教育芸術社の２社からの採択となります。２社の特徴について説明します。

教育出版は、冒頭「学びのユニット」と題して、非常に可視化されて見やすいＵＤに配慮した表記があります。また、何が同じで何が違うのかという形で、生徒が課題設定をするに当たって、例えば、オペラと歌舞伎を比較するようなテーマ設定が最初からなされているという点は新しい印象ということでした。そのほかの特徴として、教育出版は想像する、考えるという中身をたくさん取り扱っている印象です。

教育芸術社は、まず表紙から非常に斬新なアニメーションの図柄を採用しています。表紙をめくると、例えば、松任谷由実さんや、野村萬斎さん等、子どもたちにもなじみ深い方々からのメッセージがあります。ほかの特徴としては、鑑賞のところで今までなかったオペラハウスのバックヤードを取り上げ、照明さん、舞台さん、美術さんというところにもスポットを当てながら、幅広い視野により、子どもたちの思考力を広げるということを図っています。歌唱、鑑賞を問わず、写真やイラスト等、今までよりもビジュアルの質が高く、メッセージ性があり、新しい印象ということでした。

協議内容について、ＳＤＧｓの視点について、教育芸術社の方がＳＤＧｓという紹介だけではなく、音楽の具体的な活動についても掲載をしている。伝統芸能に関しては、数も取り扱っている内容も能や踊りが２社で大体同じぐらい掲載されている。調査内容を聞いていると、教育芸術社の方がより目を引く表記や中身に多くの工夫がされていると考える。といった意見が出され、結果、教育芸術社の教科書が採択されました。

山岡教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

上村委員　教育出版の方が考える中身をたくさん取り扱っているという話ですが、教育芸術社の方はどういう感じでしょうか。また、創作や話し合いということの取扱いについても教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　曲を比較したり、創作したり、話し合ったりというところが考えるというところにつながってくると思います。教育芸術社も創作活動や、交流場面というところは教育出版社と同様に多く扱っているという印象でした。

伊東委員　ＳＤＧｓの視点について、音楽の具体的な活動という点について、もう少し内容を教えていただけたらと思います。

こども・学校サポート室指導主事　ＳＤＧｓのうち「質の高い教育をみんな」にというものを、教育芸術社が取り上げており、世界中で音楽教育を支えている青年海外協力隊や支援スタッフを紹介しています。また、日本とは全く違う環境で音楽教育を受けている子どもたちに思いをはせ、国際理解や道徳的な観点を養うことの助けになっていると考えます。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

音楽一般の教科書については、原案のとおり株式会社教育芸術社の教科書を採択することについて確認します。

次に、音楽器楽合奏の教科書について審議します。　事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　音楽器楽も、教育出版、教育芸術社の２社からの採択となります。

教育出版は、アルトリコーダーの音色にこだわって演奏できる楽譜の構成となっている印象ということでした。「Let’s　play」や「Let’s　try」では、難易度順に学習できるように構成されています。それぞれの楽器の奏法について、アップ画像を多く取り入れ、口や手の形などを分かりやすく表記しています。例えば、ギターの指遣いについて写真を用いて表記をしています。演奏の姿勢や構え方、奏法等がアップの写真で掲載され可視化して

いることはＵＤへの配慮と考えます。

教育芸術社は、アルトリコーダーだけでなくソプラノリコーダーを使う中学校も増えてきたということもあり、そのような学校にも対応できる楽譜構成となっています。Ｑ＆Ａのコーナーがあり、まさにかゆいところに手が届くようなコツや技術が大変分かりやすく掲載されているということでした。「楽器でMelody」と題し、有名な曲の旋律をリコーダーや琴、三味線、篠笛など、和洋問わず演奏が楽しめるような工夫もされています。また、写真やイラストを上手に組み合わせながら分かりやすく表記している印象で、例えば、ギターの指遣いについて、あえてイラストを用いて表記することで、分かりやすくしていると考えます。

協議内容について、思春期の子どもの心をつかむビジュアル的なものや人選、また写真だけでなくイラストで見て、すぐ分かるような形にしているという点からしても、教育芸術社の方がよいのではないかと思う。音楽一般と器楽が別の出版社になるのはいかがと思う。一般と器楽ともに総合的に考えたときに、やはりＱ＆Ａのコーナー等が大変分かりやすい教育芸術社がよいのではないか。

こうした意見により、教育芸術社の教科書が採択されました。

伊東委員　音楽での基本的な技能の習得という点で、２つの出版社ともそれぞれ工夫がされていると思いますが、その辺り具体的な例があれば教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　教育芸術社の報告で触れられていたＱ＆Ａのコーナーで、リコーダーできれいな音を出す秘訣はありますか、のように、学習者が抱くような質問を的確に捉え、提示し、図を交えた分かりやすい説明をされているところは、教育芸術社の方のよいところだと思います。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

教育長　ほか、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

音楽器楽合奏の教科書については、原案のとおり株式会社教育芸術社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、美術の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　美術ですが、開隆堂、光村図書、日本文教の３社からの採択となります。それぞれの特徴について説明します。

開隆堂ですが、２冊構成となっています。１年では「学びの地図」でこれから始まる美術授業を楽しく学びたくなるような仕掛けがあります。生徒の授業風景写真とともに考え方がコメントとして掲載されており、意欲につながる工夫と考えます。対話活動を通じて、発想や構想を広げたり、問題を解決したりできる部分を「学習のポイント」として紹介しています。

光村図書は２冊構成で、２、３年では、美術史の視点を盛り込み、鑑賞中心の題材も充実しております。図版が大きいものが多い印象です。製作工程が写真で分かりやすく例示されており、構成から作品の途中経過を見ることで、授業や制作の流れがイメージできる

ようになっています。教科書全体を通して生徒作品の紹介が多く、それらの作品の制作過程も写真等で紹介されています。

日本文教ですが、他社は２冊構成であるのに対し、１年と２、３年上・下の３冊構成となっています。他社と比べると、制作過程などの説明よりも参考作品の掲載を重視している感があります。作品を作る上での注意点がマークを使って目につくように工夫されています。生徒が関心を持つように、現在多方面で活躍されている人物の美術との関わりを知ることができるコラムが掲載されています。

協議内容について、美術においては教科書べったりで教え込むというのではなく、資料としての扱いが大きいように考える。その点、光村図書は副読本を買う必要がないとの調査員の報告があり、それは大きな利点である。ＳＤＧｓの取扱いとしてデザインの表現として扱っているのは開隆堂と日本文教で、特に日本文教は明確に取り入れている。ただし、教科関連型の取扱いとしては３社ともに見られる。小・中連携、図工から美術へという変わり目については、３社ともに美術とはこういう教科であるという説明がされているが、より明確なのは光村図書である。これまでは日本文教を使っており、指導要領に沿った内容という意味では、今回も非常にしっかりとしたものをつくっていると思うが、資料集的な部分や、制作過程という点では、光村図書が一番丁寧であると考える。実技、制作工程に係る資料とその扱いの意味から光村図書がよいのではないか。こうした意見の結果、光村図書出版株式会社の教科書が採択されました。

山岡教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

上村委員　日本文教から変更になりましたが、光村図書を採択した理由を詳しく教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　美術については、ほかの教科と教科書の位置づけが違い、教科書に基づいて授業を行うというよりは、資料的な意味が大きいと思います。その点、光村図書の資料が充実しているというところが一番大きな理由かと思います。指導側あるいは学習側にとって取り扱いやすいのが光村図書だったという報告でした。

上村委員　美術は、作品に触れる、資料に触れるということがとても大事で、デジタルコンテンツというのがすごく大事になってくると思いますが、各社におけるデジタルコンテンツはどのようになっていたのか教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　３社ともにＱＲコードが掲載されており、デジタルコンテンツを利用できる形になっています。開隆堂は、各単元の最初にＱＲコードがあります。教科書掲載作品以外の作品や関連動画を見ることができますが、そのＱＲコードの中身が何かということが示してありませんので、少し分かりづらいと思いました。光村図書は、著名な作品の音声ガイドが流れたり、教科書には掲載されていない中学生の作品や、ほかにも制作過程を見ることもできます。光村図書はＱＲコードのほかに、簡単ですが説明が記されているところがありました。日本文教もデジタルコンテンツがあり、造形作品を３６０度の視点で見ることができるというものですが、掲載されている数がやや少ないという印象でした。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

美術の教科書については、原案のとおり光村図書出版株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、保健体育の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　保健体育は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの４社からの採択となります。保健については、東京書籍の評価が高く、他社については横並びという評価でした。

東京書籍ですが、１時間の流れが指導者にも生徒にも分かりやすいものになっているということでした。また、言語活動を充実させる設問が他社に比べて大変豊富に設定されており、主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業展開に活用しやすいということです。章末の資料や読み物資料が豊富に掲載されています。身近な生活に基づく事柄からの発問で、授業導入時の生徒の主体性を引き出すような工夫があります。

大日本図書ですが、構成が左ページに本文、右ページに資料で全て統一され、非常に分かりやすい構成で、視覚的にもよいのではないかということです。また、資料も豊富に準備されています。さらに、「やってみよう」「話してみよう」という項目では話合い活動につなげられるような設問が設定されています。

大修館書店ですが、１つの見開きを１時間扱いとして構成され、分かりやすく整理されています。本文と資料がバランスよく配置されていて非常に見やすいのが特徴です。資料も豊富で分かりやすいものが並べられています。他社と同様に、考えたり話し合ったりする設問も十分に配置されています。本文中にある資料の内容が具体的で豊富であるという印象でした。

学研教育みらいですが、他社と同様に１時間の流れが目標、課題、つかむ、考える、調べる、まとめる、深めると構成されており、分かりやすいように思います。こちらも１時間で１つの見開きという構成になっており、適切な分量で構成されていると考えます。また、話合い活動や探究活動につなげられるような資料の提示も十分にされている印象です。章ごとに「保健体育と情報」を取り上げ、身の回りの事象や情報と健康との関連性が掲載されています。

協議内容について、各社とも生活に直結した充実行動、スポーツライフの構築に向けたテーマが的確に取り上げられている。東京書籍は、ほかの教科との関連が分かるようなマークがたくさん記載されており、保健と他教科との結びつきを考えて、その上で自分の日常生活とのつながりに子どもたちが気づけるような深い学びが期待できるのではないか。東京書籍のシンプルな文章が子どもたちにとって読みやすく、理解しやすいと思う。授業の進めやすさ、限られた時間で授業を進めていくという上で１時間の授業の流れが学習者だけでなく指導者にも分かりよいというのは大きな利点である。こうした意見が出され、その結果、東京書籍株式会社の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

伊東委員　教科書の見本だけでは、デジタルコンテンツの内容が分かりにくかったのですが、

評価が一番高かった東京書籍のデジタルコンテンツの特徴について教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　東京書籍は、ほかの教科同様にＤマークをつけて、デジタルコンテンツがあることを示しています。内容ですが、保健の技能習得を助ける動画として、例えば、応急手当の動画や、危険予測シミュレーションの映像教材、パラスポーツの理解を深めるウェブ資料等多様な内容があります。東京書籍はオリジナルコンテンツを自社で作成しているところもあります。数量は東京書籍がおよそ５０、大日本図書、大修館、学研は３０位でした。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

保健体育の教科書については、原案のとおり東京書籍株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、技術・家庭、技術分野の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　技術ですが、東京書籍、教育図書、開隆堂の３社からの採択となります。

東京書籍ですが、実習例が多く書かれていることから、自分の技能に合わせたものを選択し、取り組むことができやすいと考えます。チェック欄が要所要所にあり、確認をして自主的に取り組みやすいのも特徴です。専門的な内容が丁寧に書かれており、また、写真やイラストを用いて分かりやすく解説されています。文章や写真などのバランスがよいという印象でした。

教育図書は基礎技能などはチェックボックスを活用し、自分で分析できるようになっています。実習時に使える冊子として別本がついています。専門的な内容はほかに比べると少ない印象です。各章に３観点のまとめ問題があります。多くの実習例が提示されています。さらに社会で活躍する人々や中学校、高等学校の先輩の活躍を紹介し、社会とのつながりを考えさせているのも特徴です。

開隆堂は、豆知識という欄で、学習した内容についての補足説明を加えて共通認識がしやすいように工夫しています。話し合ってみようという内容を提示して、多様な思考の視点の投げかけをし、考える機会・活動の設定が行いやすいと考えます。同年代のキャラクターを用いて、生徒に投げかけ、考えさせる機会にもつなげており、生徒も親近感を感じ、納得しやすいと考えます。

協議内容について、以前は教育図書は技能に特化している印象もあったが、今は３社の教科書が近づいている印象である。調査員の報告からも３社ともに甲乙つけがたいということであった。技術科は専門教員が少なくなっており、ベテランと若手の中間層が少ないという特徴がある。こうした観点で見ると、東京書籍が指導しやすいのではないかと考える。そういった意見が出され、東京書籍株式会社の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

中学校技術の学習では、プログラミングがこれから大変注目されると思いますが、各社で取扱いについて差異があるかどうか、教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　プログラミング言語ですが、３社ともに共通して扱っているのは「スクラッチ」、それから日本語入力してプログラムを行う「ドリトル」になります。これに加えて教育図書は、日本語入力型の「なでしこ」を、東京書籍はJava　ScriptとＨＴＭＬを利用した英語テキスト型のプログラミング言語を扱っていますが、小・中だけでなく中・高の接続というところを考えますと、東京書籍がよいのではないかと思います。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

技術・家庭、技術分野の教科書については、原案のとおり東京書籍株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

技術・家庭、家庭分野の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　家庭は東京書籍、教育図書、開隆堂の３社からの採択となります。３社の特徴をお伝えする前に、１点確認があります。学習指導要領では、家庭分野の内容構成はＡが家族・家庭生活、Ｂが衣食住の生活、Ｃが消費生活・環境となっています。Ａの内容のほとんどは３年生で学習しますが、Ａ－１、自分の成長と家族・家庭生活は家庭分野のガイダンスとしての取扱いもあって、１年生の最初で履修することとなっております。これを踏まえて、各社の特徴を説明します。

東京書籍ですが、ほかの２社と異なり配列をＢ、Ｃ、Ａの順としています。「学習のまとめ」には大切な用語が学習ページとともに記され、非常に確認しやすくなっております。布を使った制作実習では、実習例が難易度別に掲載されています。調理・被服実習例が他社より多い印象です。みかちゃんというキャラクターを登場させ、そのセリフにより、学習者が家庭科の学習目標である見方・考え方を働かすという部分を大きく担っているように考えます。付録として防災手帳、子どもの視界体験眼鏡がついています。

教育図書について、単元の配列は学習指導要領のＡ、Ｂ、Ｃの順です。「学習の振り返り」は３観点別にまとめられており、評価につなげやすいものとなっています。付録に献立作成用シールがついています。

開隆堂は単元の配列は学習指導要領のＡ、Ｂ、Ｃの順です。開隆堂も「学習のまとめ」が３観点別にまとめられており、評価につなげやすいものになっています。教科書を見て、家庭でも取り組みたくなるような実習例がレイアウトを工夫して掲載されています。

協議内容ですが、学習指導要領で家庭科には持続可能な社会に対する記述をどうするべきかという課題がある。調査員の話では、それほど大きな差異はなく、各社とも取り扱っているが、開隆堂と東京書籍は章末に「持続可能な衣生活」「持続可能な食生活」としてまとめられているということでした。ジェンダーの問題については、各社とも性的役割分業と感じられるようなシーンやイラストはなかったということです。調査員つまり現場の教員が一番子どもたちにも興味関心を抱かせて、教員としても進めやすいと言っていたのは東京書籍で、これを採択するのがよいのではないかといった意見が出され、東京書籍株式会社の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

藤原委員　学習指導要領のＡ、Ｂ、Ｃの配列が違うということでしたが、３社の教科書の中でどのように評価があったのか教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　東京書籍の配列は、自立から共生を意識した配列となっているということでした。衣食住及び消費生活と環境の自立に関する内容で導入を図り、家族、家庭と性に関する内容は高等学校への連携を図るものとして後半に配置されています。従来ですとＡ、Ｂ、Ｃの並びがよいということでしたが、これはガイダンスのページが充実していなかった場合であり、今回の東京書籍の教科書はガイダンスのページが充実しているので、Ｂ、Ｃ、Ａの順で配置されている方が、学習の目標が自立から共生の順になっており、子どもたちにとっても分かりやすく、ストーリーを持って教えることができるのは魅力を感じるとのことでした。

藤原委員　家庭分野は実習する機会がたくさんあると思いますが、実習例と具体的に生徒たちの生活に結びつけて生かすということを考えると、各社の特徴はどういうものであるか、教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　実習例ですが、開隆堂はＱ＆Ａとして、各工程がなぜ必要なのかということが記されています。例えば、調理の実習工程に当たって、この部分この過程で塩を振るのはなぜなのかとか、小麦粉をまぶすのはなぜなのかというところが理由とともに記されているので、子どもたちにとっては理解が深まり、分かりよいと感じました。また、調理実習の工程が１ページで収められております。教育図書は紙面が非常にシンプルになっています。実習例と情報が精選されているので、紙面にゆとりがあって見やすいように感じました。東京書籍ですが、開隆堂のＱ＆Ａにあたるものは、ポイントとして記されています。紙面の情報量は非常に多いので、これは長短両方の意見があるかもしれませんが、実習例、情報量が多いことは、子どもたちが実際の生活の中で学習を生かそうとしたときに、非常に取り組みやすく、意欲が湧きやすいのではないかと思います。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

技術・家庭、家庭分野の教科書については、原案のとおり東京書籍株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、英語の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　英語ですが、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の６社からの採択となります。そのうち、東京書籍、光村図書が高い評価を得ていました。この２社の特徴について説明します。

東京書籍は、現在採用している出版社となります。現行の教科書とほぼ同じような形で構成されています。キャンドゥリスト形式の学習到達目標を設定しており、単元やページごとの目標を明示しています。また、文法の面でもキーセンテンスとして文法事項が明記されており、思考力・判断力・表現力の育成を図るため、ユニットごとのユニットアクティビティ、数単元ごとにページアクティビティを設けているところが特徴です。

光村図書は、キャンドゥリスト形式の学習到達目標を設定しています。ストーリー性を重視しており、楽しみながら生徒が学べるような工夫となっています。また、言語材料の扱いについては、各ページに基本文として文法事項が明示されています。そして、思考力・判断力・表現力等を育成するための配慮としてRetellという項目を取り入れており、そのユニット単元で学んだ内容を英語で要約したりするような力を培うトレーニングができるという点では非常によいということでした。数ユニットごとに、「You can do it」という総合的な力を育成するためのページが設けられています。

協議内容ですが、小学校の英語が始まり、各社ともに小・中の接続を強く意識している。小学校で学んだ単語を太字にするという工夫もあるが、東京書籍は小学校で学んだ部分については、小のマークをつけて、小・中の接続に特に力を入れている印象であった。昨年度、小学校の英語の教科書として東京書籍を採択したが、中学校１年生の１学期は特に小学校の復習となるところも多くあり、同じ出版社がよいのではないか。調査員の報告では、東京書籍はこれまでずっと使用していることもあり、使いやすさということはあるが、内容が盛りだくさん過ぎ、丁寧に作られ過ぎていて、教師の創意工夫が入りにくいという印象もあるということであった。教師の創意工夫を入れる余地があること、文法事項をまとめた文章が非常に分かりやすく置かれていること、調査員報告にあったRetell、そのほか細かな配慮として、文字よりもキャラクターに目が行ってしまわないような印刷濃度の配慮や音読回数を記録する欄の設置などを踏まえ、光村図書がよいのではないか。こうした意見が出され、その結果、光村図書出版株式会社が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

藤原委員　東京書籍が非常に長く使われてきたのに、今回光村図書を選択された理由を教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　指導者の創意工夫を入れる余地があるところ、文法事項をまとめたものの分かりよさ、それから、Retellの扱い等が一番の理由だと考えます。小学校英語が始まり、新指導要領が中学校でも始まるというところで英語教育を見直して、教員の指導力とか研修力を高めるという意味では、出版社が変わって新たに、というところにも利点があるのではないかという意見もありました。

伊東委員　英語の授業を見ると、リスニングや発音、世界の文化の紹介などを大画面モニターで、ウェブサイトを使ったり、また、いずれタブレットで学習したりがあると思いますが、各社のデジタルコンテンツについて、どのような意見があったか教えてください。

こども・学校サポート室指導主事　評価の高かった東京書籍と光村図書についてですが、東京書籍は各ページにあるＱＲコードを読み取って、ページ内にある本文、単語の音声を聴くことができます。Ｄマークがそれとは別にあり、これはコンテンツ一覧から選ぶことで資料映像、国際理解につながるようなものも含めて見ることができます。光村図書は、各ページにＱＲコードがあり、スライドのアニメ、リスニングの音声、映像等、両者ともに多様なコンテンツが準備されているという印象でした。

上村委員　光村図書の説明の中にストーリー性の重視という言葉があったと思いますが、その点をもう少し具体的にお願いします。

こども・学校サポート室指導主事　光村図書は各ユニットの本文は、４人の中学生が出会い、さまざまな出来事を通じて成長していく３年間ひと続きのストーリーにしています。ストーリーを通して学ぶ中で、次はどうなるんだろうと興味を引かれるのではないか、ということで、出版社もこのストーリー性とを非常に強く押し出している印象でした。

藤原委員　最近は英語を話す人が増えており、国際理解や多様性というのは非常に大切な視点だと思いますが、その点、各社はどのようなことに扱っていますか。

こども・学校サポート室指導主事　登場人物を始め、さまざまな人種の方々を登場させたり、国際理解、多様性というところは、各社ともに非常に気を遣って作られている印象でした。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

英語の教科書については、原案のとおり光村図書出版株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

次に、特別の教科道徳の教科書について審議します。事務局から説明願います。

こども・学校サポート室指導主事　道徳は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教、学研教育みらい、あかつき、日本教科書の７社からの採択となります。そのうち、光村図書、日本文教、あかつきの３社が高い評価を得ていました。

光村図書は教材の配列が３シーズンで構成されています。各教材の巻頭に内容項目が表示されています。読み物と併せて２時間扱いの教材として体験的な学習の深めタイムというものもあります。学びの記録を記入できるものが巻末に付属されています。「考えよう」の発問とは別に、「見方を変えてつなげよう」という発問が設定されており、多角的に考えたり、日常生活や他教科に考えをつなげられるような工夫がされています。問題解決的な学習、ポスターや漫画、写真から感じ取る教材など、多様な教材が配置されている印象です。各学年で「広げよう」のページが設けられており、役割演技などの体験的な学習をすることができるよう工夫されています。

日本文教は、別冊で道徳ノートがあり、教材とリンクしたワークシートと振り返りができるものです。この別冊には保護者欄もあり、家庭との連携に生かすことができます。各教材資料の冒頭に、内容項目に沿ったテーマが設定されています。学習を深めるヒントの記載があり、ホワイトボードを使った議論の方法などを学ぶことができます。ユニット教材「よりよい社会と私たち」では、社会参画、将来の生き方の視点から考えさせる資料が入っています。「考えてみよう」の設定があり、考え方の方向性を示し、「自分にプラスワン」という項目で自分に置き換えて考えることができます。また、道徳ノートでは自分に関することを書く欄が多いという印象です。

あかつきは、別冊「中学生の道徳ノート」があり、これを活用することで内容を深めることができます。別冊ノートでは内容項目ごとに振り返りができるようになっています。教材ごとに「考える」「話し合う」「学習の手がかり」「考えを広げる」「深める」という設定があり、教材理解、自分自身の振り返り、道徳的諸活動を深める工夫がされています。１つの教材に対して、複数の内容項目の指導を想定しており、学校の実態に応じて指

導ができるような工夫となっています。「中学生の道徳ノート」には、それぞれの道徳的諸活動についての解説が掲載されており、必要に応じて書き込みながら考えられるようになっています。シンキングは新たにコラムとして設けてあり、多角的、多面的に考える機会となっています。

協議内容ですが、日本文教とあかつきには道徳ノートがあるが、日本文教は教材とリンクしたもの、あかつきは学習の記録として書けるスペースと教材に関連した資料が掲載されたものとなっている。道徳ノートが必要かどうかという点で、あかつきのノートに掲載されている資料がとてもよい。必要に応じて、自分で考えて書き込みできるスペースがあるということと、補助教材が本文とリンクすることで非常に有効である。この点であかつきのノートは有用であり、あかつきがよいのではないかと考える。あかつきは、従前より扱われている読み物資料の中で感動資料も多く採用している。それは指導者の目からしても、非常に価値ある教材となっていると考える。こうした「教材の内容」という意味でもあかつきがよいのではないかといった意見が出され、廣済堂あかつき株式会社の教科書が採択されました。

教育長　これから討論に入ります。ご意見や質疑はありませんか。

西村委員　道徳に関して、一昨年の採択では道徳ノートの有効性という点が、採択の大きな観点になったように思います。今回の道徳ノートの内容について、以前に増していろいろ工夫されている点も多いと思いますが、今回の協議会では別冊の道徳ノートについて、どういう意見が多かったですか。

こども・学校サポート室指導主事　協議会では、ノートがあった方がよい、ない方がよいという話は出なかったと思います。ただ、別冊として、生徒が書き込みをする欄が確保されているということは、学習者の振り返りに非常に有効であるというところと、補助教材が優秀であるところから、あかつきのノートは非常によいのではないかという評価がありました。

西村委員　同じように前回も論議されていましたが、教材の冒頭に道徳的な価値とか内容が明示されている教科書と、全くされていない教科書があって、どちらが活用しやすいかということで、その辺りについては、中学生の発達段階から、また教員が指導を進める点から考えると、ない方がいいということで、今使っているあかつきが採択されたと思うのですが、昨年、今年と、２年間使っている現場の実態も含め、あかつきの特徴や評価はどうですか。

こども・学校サポート室指導主事　教材文の前にある内容項目、テーマ、解説等が、学習者にとってはねらいを焦点化しやすかったり、指導者が教えやすいという意見もあるかもしれませんが、今回調査員になった現場の先生方の意見としては、中学生という発達段階を考えると、やはりない方がよいのではないかということでした。どうしても先入観としての価値を持った上で授業に臨んでしまうおそれがあるというような意見でした。

教育長　ほかに質疑等、よろしいですか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

特別の教科道徳の教科書については、原案のとおり廣済堂あかつき株式会社の教科書を採択することについて確認したいと思います。

教育長　それでは、全体を通してご意見、ご質問等あれば。

（「なし」と言う者あり）

教育長　質疑なしと認めます。

日程第１、議案第５４号「令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書の採択について」、

「国語」は、「東京書籍(株)」の

「書写」は、「光村図書出版(株)」の

「社会_地理的分野」は、「(株)帝国書院」の

「社会_歴史的分野」は、「(株)帝国書院」の

「社会_公民的分野」は、「東京書籍(株)」の

「社会_地図」は、「(株)帝国書院」の

「数学」は、「(株)新興出版社 啓林館」の

「理科」は、「(株)新興出版社 啓林館」の

「音楽_一般」は、「(株)教育芸術社」の

「音楽_器楽合奏」は、「(株)教育芸術社」の

「美術」は、「光村図書出版(株)」の

「保健体育」は、「東京書籍(株)」の

「技術･家庭_技術分野」は、「東京書籍(株)」の

「技術･家庭_家庭分野」は、「東京書籍(株)」の

「英語」は、「光村図書出版(株)」の

「特別の教科道徳」は、「廣済堂あかつき(株)」の

各教科書を採択することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

教育長　異議なしと認めます。日程第１、議案第５４号「令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書の採択について」は、原案のとおり決しました。

本日の採択の結果は、直ちに山城教科用図書採択地区協議会へ報告します。

これで、日程第１、議案第５４号「令和３年度以降に京田辺市立中学校において使用する教科用図書の採択について」を終わります。

本日予定しておりました議事日程は以上です。そのほか、報告事項等はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

教育長　なしと認めます。

令和２年第２回京田辺市教育委員会臨時会を閉会します。